



平成20年4月9日

各位

東京都世田谷区代沢五丁目2番1号
東邦薬品株式会社
代表取締役社長 濱田 矩男
(東証第一部 コード番号8129)
問い合わせ先
執行役員
経営企画室長兼広報・IR室長
石井 護
(電話 03-4330-3732)

簡易株式交換による株式会社調剤センターの完全子会社化に関するお知らせ

当社は、平成20年1月11日に全快堂薬局グループ(株式会社全快堂薬局、本社：新潟市および株式会社調剤センター、本社：新潟市)を子会社化するお知らせをいたしておりましたが、平成20年5月1日をもって簡易株式交換により株式会社調剤センターを完全子会社とすることについて、本日(平成20年4月9日)開催の取締役会で決議し、株式交換契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本株式交換は、簡易株式交換であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

東邦薬品株式会社を核とする「共創未来グループ」は、医薬品等の流通企業集団として「全ては健康を願う人々のために」のコーポレート・スローガンの下、グループ全体の経営資源の積極的な活用によりグループシナジーの最大化に取り組んでおります。

今般、当社は当グループの調剤薬局事業の更なる強化、発展を図ることを目的として、新潟県を中心に調剤薬局事業を展開してきた全快堂薬局グループの株式会社調剤センターを、株式交換により完全子会社とすることを決定いたしました。

2. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程(本株式交換は簡易株式交換手続きによります。)

- ①平成20年4月 9日 株式交換決議取締役会
- ②平成20年4月 9日 株式交換契約書締結
- ③平成20年4月17日(予定) 株式交換契約書承認臨時株主総会(株式会社調剤センター)
- ④平成20年5月 1日(予定) 株式交換の予定日(効力発生日)
- ⑤平成20年6月 中旬(予定) 東邦薬品株式会社の株券交付日

(注) 本株式交換は、東邦薬品株式会社については、会社法796条第3項の規定に基づき、簡易株式交換手続きにより株主総会の承認を得ないで行う予定です。

(2) 株式交換に係る割当ての内容

	東邦薬品株式会社 (完全親会社)	株式会社全調剤センター (完全子会社)
株式交換比率	1	353.05

(注) ①株式の割当比率

株式会社調剤センターの株式1株に対して、当社の株式353.05株を割当交付いたします。

②株式交換により交付する株式数

当社は、その保有する自己株式190,647株を本株式交換による株式の割当てに充当いたします。

(3) 株式交換に係る割当の内容の算定の考え方

①算定の基礎および経緯

本株式交換に用いられる株式交換比率算定の公正性を期すため、当社は第三者機関としてエヌエヌコーポレートアドバイザー株式会社を選定し、株式価値算定を依頼しました。

エヌエヌコーポレートアドバイザー株式会社は、当社について市場株価平均法による分析を行い、株式会社調剤センターの株式価値については、DCF法(ディスカунティッド・キャッシュ・フロー法)による分析を行い1株当たりの株式価値が算定されました。

両社は、エヌエヌコーポレートアドバイザー株式会社による株式価値算定結果を参考にして協議の結果、本株式交換における株式交換比率について前記のとおり合意いたしました。

②算定機関との関係

算定機関であるエヌエヌコーポレートアドバイザー株式会社は、東邦薬品株式会社および株式会社調剤センターの関連当事者に該当いたしません。

(4) 株式交換完全子会社の株予約権及び新株予約権付社債に関する取り扱い

該当事項は有りません。

3. 株式交換当事会社の概要

(1) 商号	東邦薬品株式会社(完全親会社) (平成19年9月30日現在)	株式会社調剤センター(完全子会社) (平成19年6月30日現在)
(2) 事業内容	医療用医薬品・検査薬等の卸売、調剤薬局事業	調剤薬局事業
(3) 設立年月	昭和23年9月17日	平成7年3月14日
(4) 本店所在地	東京都世田谷区代沢五丁目2番1号	新潟市東区上木戸五丁目3番5号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 濱田 矩男	代表取締役社長 栗田 武士
(6) 資本金	10,599百万円	27百万円
(7) 発行済株式数	59,219,061株	540株
(8) 純資産	76,790百万円(連結)	136百万円(単体)
(9) 総資産	396,447百万円(連結)	264百万円(単体)
(10) 決算期	3月31日	6月30日
(11) 大株主及び持株比率	田辺製薬株式会社 5.39% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 5.10% アステラス製薬株式会社 3.31%	栗田武士 100.00%

4. 株式交換後の状況(株式交換完全親会社について)

(1) 商号、事業内容、本店所在地、代表者、決算期、資本金

これらについて「3. 株式交換当事会社の概要」に記載の内容から変更ございません。

(2) 今後の見通し

株式会社調剤センターが当社の子会社となる当期以降における当社連結業績への影響については、当社の連結業績予想に織り込んで開示する予定です。

以上